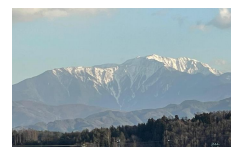


ああ 遠くの空は 晴れている



NO17

南箕輪村教育委員会

第17号では、広報みなみみのわ に令和8年1月号から掲載している
小中学校の授業風景 自分のよさと可能性を発揮する子どもたち
「共に 学び合う」を紹介します。今回は、南箕輪中学校の1年生 保健体育の
授業風景です。

【発行の趣旨】

子どもたちが、お互いのよさと可能性を発揮して、共に学び合いながら成長
している授業風景を村民の皆様にお伝えしていきます。「授業の充実」を学校づ
くりの根幹と考える学校での、子どもの学びを伝えていきます。

(次回予定) 令和8年 7月号 南部小学校の授業風景です。

小中学校の授業風景

自分のよさと可能性を発揮する子どもたち

共に学び合う

No.3



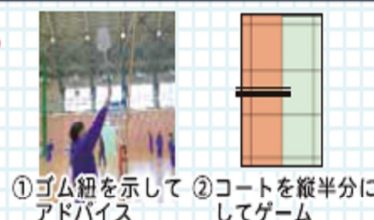
- 本時のめあて
- **【相手を揺さぶって得点したい!】**
 - ペアでアドバイス(★)し合うことを通して、
 - より効果的な攻撃をしようと見方・考え方を深めていった生徒の姿

南箕輪中学校1年生 保健体育

単元【ネット型「バドミントン」】

【生徒の判断の負荷を減らす場の工夫】←教師の教材研究から

- ① ネットの上にナビゲートライン(ゴム紐)を張り、シャトルを打つ際の目印にする。
→★「あのゴムを狙って打つと、コートの後ろまでいくよ。」
- ② コートを縦半分にし、前後への打ち分けに意識を集中させる。
→★「大きく打って相手を後ろに下げよう。」
★「次は前側に落とそう!」



① ゴム紐を示して アドバイス ② コートを縦半分に してゲーム

【ペアでのアドバイスのやりとりの様子】←ペア学習のよさ(学び合う場の構成)

【AさんとBさん、CさんとDさんのやりとり】

Aさん「Bさんはサーブが課題だね。相手を後ろに下げるサーブを打てるよう、ゴム紐に当てるつもりで打ってみようよ」→何度か打つ→
「サーブがコートの後ろに入るようになったね。次は相手からの返球を大振りせずピシッと打ってみよう」→ジャストミート→「ナイス!」

Dさん「Cさんは、シャトルを大きく後ろに打たれたときに取れないことが多いかな。ホームポジションを意識するといんじゃないかな」→「そうそう、打ったあとは、いつもホームポジションに戻っていていいと思うよ」→
励ましの言葉でCさんのやる気UP!

【アドバイスカードに記入した改善点】

Aさん:サーブはコートの後ろへ大きく打つ。返球が来たら、大振りせず確実にコートの前方へ落とす。

Cさん:コートの後ろに打たれたシャトルを打ち返したら、すぐにコートの真ん中のホームポジションへ戻る。前方に落とされた時も同様。

この授業のポイント

◎「自分のアドバイスが相手のプレーの役に立つ実感をもってほしい」「相手へのアドバイスを基に『相手を揺さぶる』見方・考え方を深めて自分のプレーにも活かしてほしい」という願いからアドバイス活動を取り入れた授業です。経験や技能の違いがあってもお互いにアドバイスを活かし合う姿、自分のプレーに活かそうとするが見られました。

【このコーナーは、奇数月に、村の小中学校が順番で執筆していきます。】